

**問** 市長就任から今日までの行政運営の成果と課題は何か。

**答** 公約として掲げた5つのビジョンについて、施策を具体化した。政治信条である対話行政により、初心を忘れず、全力で市政に取り組む。



物価高騰への対応について

**問** 市民の生活を守る対策が急務と考えるが市の考えは。

**答** 国による一元的な対応が必要であることから、東北市長会などを通じ、対策強化に関する要望を行っている。

これまで、国による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等を活用し支援策を講じてきたが、財源を確保しながら、効果的な対策を講じる必要がある、国や県の動向を注視する。

マイナンバーカードの普及について

**問** 本市における交付状況と普及促進のための取組みは。

**答** 国の発表によると本市の2月末現在の交付枚数率は63・9%で、国の63・5%を上回っている状況を

昨年10月に交付強化期間をスタートさせ79の事業所訪問や各市民センターへの出張申請サポートのほか、平日に来庁できない方のために、休日・時間外窓口を延べ38回開設するなど、2月末現在の申請件数率は7割を超えている。  
今後もきめ細やかなサポートを行い、さらなる普及拡大を目指していく。

質問した項目

- 市政運営について
- 物価高騰などから市民の暮らしを守る対策について
- 「デジタル田園都市国家構想」について
- デジタル化の推進体制について
- 空き家対策について

戸田 芳孝 議員 (鹿山会)  
質問時間 45分



録画配信はこちらから

**問** 「いつでも市長室」で出された貴重な意見をどのように施策や予算に反映させていくのか。

**答** 実現可能性を検証しながら施策に反映させていく。来年度は農業マッチングアプリの導入や、伝統芸能の保存・育成支援などを実施する。



新年度予算について

**問** 人口減少対策への取組みと本市独自の出産・子育て支援への予算配分はどのようなになっているか。

**答** 人口構造の若返りを図るため、施策の充実を図りながら、子どもを産み育てやすい環境の構築に向け、予算を重点的に配分している。

また、来年度から市の助成金の内容を見直し、国の給付金に市が5万円を上乗せして支給する。

毛馬内地区のまちづくりについて

**問** 高校統合後や図書館移転後を見越して、公共施設の建設など、毛馬内地区のまちづくりを総合的に計画する時期と考えるが、市の考えは。

**答** 本市が、持続可能なまちであるためには、公共施設等について市域全体での最適な配置が必要となる。鹿角市公共施設等総合管理計画では、必要なサービス機能を維持しながらも施設総量の縮減を目指しながら、今後維持する施設の長寿命化を推進していく方針であり、現時点で毛馬内地区に新たに複合施設を建設する考えはない。

質問した項目

- 第7次総合計画について
- 新年度予算案について
- エネルギー価格高騰対策について
- 世界遺産の保存、伝承、観光資源としての活用方法について
- 毛馬内地区のまちづくりについて
- ほか

児玉 悦朗 議員 (鹿真会・公明)  
質問時間 45分



録画配信はこちらから